

福島工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	現代社会特論 I	
科目基礎情報							
科目番号	0058			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	ビジネスコミュニケーション学科			対象学年	3		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	配布資料、授業中に指示する。						
担当教員	松江 俊一						
到達目標							
①現代社会事情のトピックを理解し、グローバルな視点で事象をとらえることができる。 ②社会的事象に関して自分の考えを持ち、意見を述べることができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1							
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	現代社会事情全般の理解に努め、個人・集団のコミュニケーションの現状を把握する。						
授業の進め方・方法	50分の中間試験を実施する。50分の期末試験を実施する。 定期試験60%、授業メモ・レポート・課題等40%として総合的に評価し、60…以上を合格とする。						
注意点	授業中の講話や資料による知識は問題把握のきっかけにすぎない。関連する記事や書籍を自身で調べることを心がけること。課題等の資料を読み、毎回コメントを準備して授業に臨むこと。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	日本経済		シェアリングエコノミー、マイナス金利		
		2週	国際経済		T P P 1 1 中国経済の現状		
		3週	国内政治		安全保障関連法案 ニッポン一億総活躍プラン		
		4週	国際情勢		難民6000万人時代		
		5週	金融		消費活動指数 ビットコイン		
		6週	雇用 労働		A I と労働市場 ワークライフバランス		
		7週	資源 環境		パリ協定とC O P 2 1		
		8週	観光 交通		インバウンド消費 クールジャパン戦略		
	4thQ	9週	次世代技術		I o T 第5世代携帯		
		10週	医療 福祉		医療クラウド 新オレンジプラン		
		11週	社会 生活		L G B T 高齢者再雇用問題		
		12週	教育		2018年問題 遠隔教育		
		13週	未来への展望 1		学生が提起する課題 1		
		14週	未来への展望 2		学生が提起する課題 2		
		15週	未来への展望 3		学生が提起する課題 3		
		16週	前期学習したことの総括		前期期末試験解答用紙の返却と解説		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	課題等	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	40	0	0	0	0	100
基礎的能力	60	40	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0